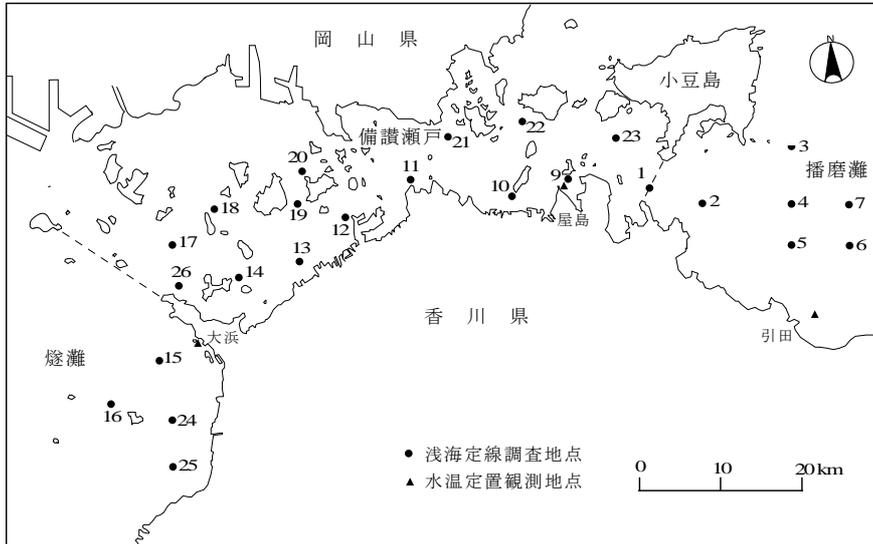


香川県漁海況情報 平成 28 年 5 月 (H28-2 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 28 年 4 月 28 日 (播磨灘), 5 月 2 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「かなり高め」、塩分は「やや低め」、透明度は「平年並み」から「やや高め」、溶存酸素は「やや低め」から「やや高め」であった。

5月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	15.3	15.0	13.5	31.7	31.9	32.0	8.5	5.85	5.73
	平年値	14.3	13.4	12.2	32.3	32.4	32.5	9.2	5.98	5.44
	平年偏差	0.9	1.6	1.3	-0.5	-0.5	-0.5	-0.7	-0.13	0.29
	標準偏差(σ)	1.1	0.8	1.0	0.5	0.5	0.5	2.9	0.47	0.44
	状況	やや高め	かなり高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	平年並み	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	15.9	15.4	15.3	32.0	32.1	32.2	7.3	5.52	5.59
	平年値	14.5	14.1	14.0	32.6	32.7	32.7	5.7	5.62	5.59
	平年偏差	1.4	1.3	1.3	-0.6	-0.5	-0.5	1.6	-0.10	0.00
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	1.8	0.45	0.43
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	17.8	15.4	14.0	32.5	32.6	32.7	9.4	5.36	5.03
	平年値	15.9	14.1	13.3	32.8	33.0	33.2	10.4	5.69	5.19
	平年偏差	2.0	1.3	0.8	-0.4	-0.4	-0.5	-1.0	-0.33	-0.16
	標準偏差(σ)	1.3	1.3	1.5	0.4	0.4	0.4	3.0	0.39	0.49
	状況	かなり高め	やや高め	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 56 年 (1981) 1 月～平成 22 年 (2010) 12 月

溶存酸素：昭和 56 年 (1981) 2 月～平成 22 年 (2010) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

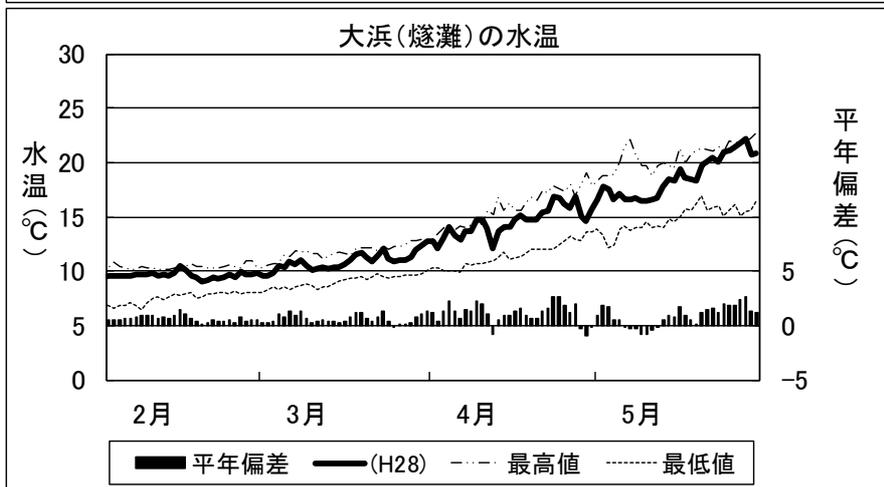
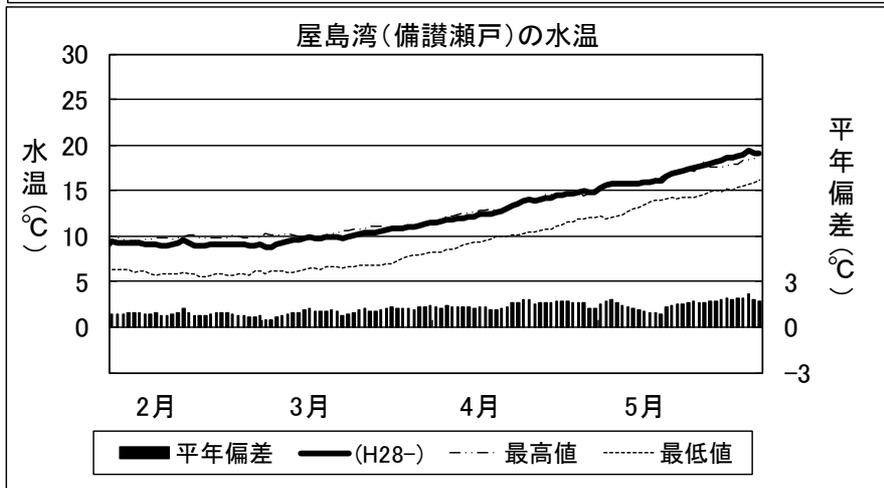
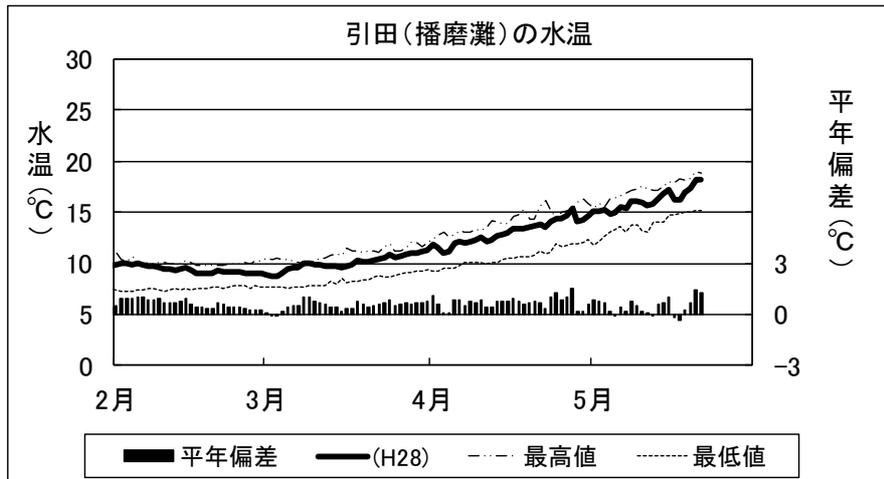
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 2月はかなり高めから平年並み, 3月は平年並みからやや高め, 4月はやや高め, 5月はやや高めからかなり高めで推移している。(3月上旬に1日過去最高値を更新。) 波浪による機器の故障により, 5月21日以降は欠測。

備讃瀬戸 (屋島) : 2月はやや高め, 3月は平年並みからかなり高め, 4月はかなり高めから著しく高め, 5月はかなり高めから著しく高めで推移している。(3月下旬に1日, 4月中旬に4日, 下旬に2日, 5月に17日過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 2月はやや高めからかなり高め, 3月は平年並みからかなり高め, 4月はかなり高め, 5月は平年並みからかなり高めで推移している。(2月中旬に1日, 4月上旬に2日, 5月下旬に2日過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 27 (2015) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 27 (2015) 年



4) 赤潮 (5月1日～5月31日)

播磨灘：発生なし
 備讃瀬戸：発生なし
 燧灘：発生なし

5) 卵稚仔

調査日：平成28年4月28日(播磨灘)，5月2日(備讃瀬戸，燧灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	51.5	0.5	0.0	0.0	7.3	0.6
	平年値	14.2	5.0	2.2	5.0		
	対平年(%)	363.6	10.0	0.0	0.0		
備讃瀬戸	平均値	16.9	1.3	0.0	0.0	19.1	1.9
	平年値	14.2	1.2	2.2	0.1		
	対平年(%)	119.1	113.7	0.0	0.0		
燧灘	平均値	74.7	5.4	0.0	0.0	10.4	0.1
	平年値	2.1	1.2	0.2	0.1		
	対平年(%)	3,493.0	463.1	0.0	0.0		
総平均	平均値	39.6	2.1	0.0	0.0	13.9	1.1
	平年値	50.3	0.4	0.9	0.1		
	対平年(%)	78.7	531.7	0.0	0.0		

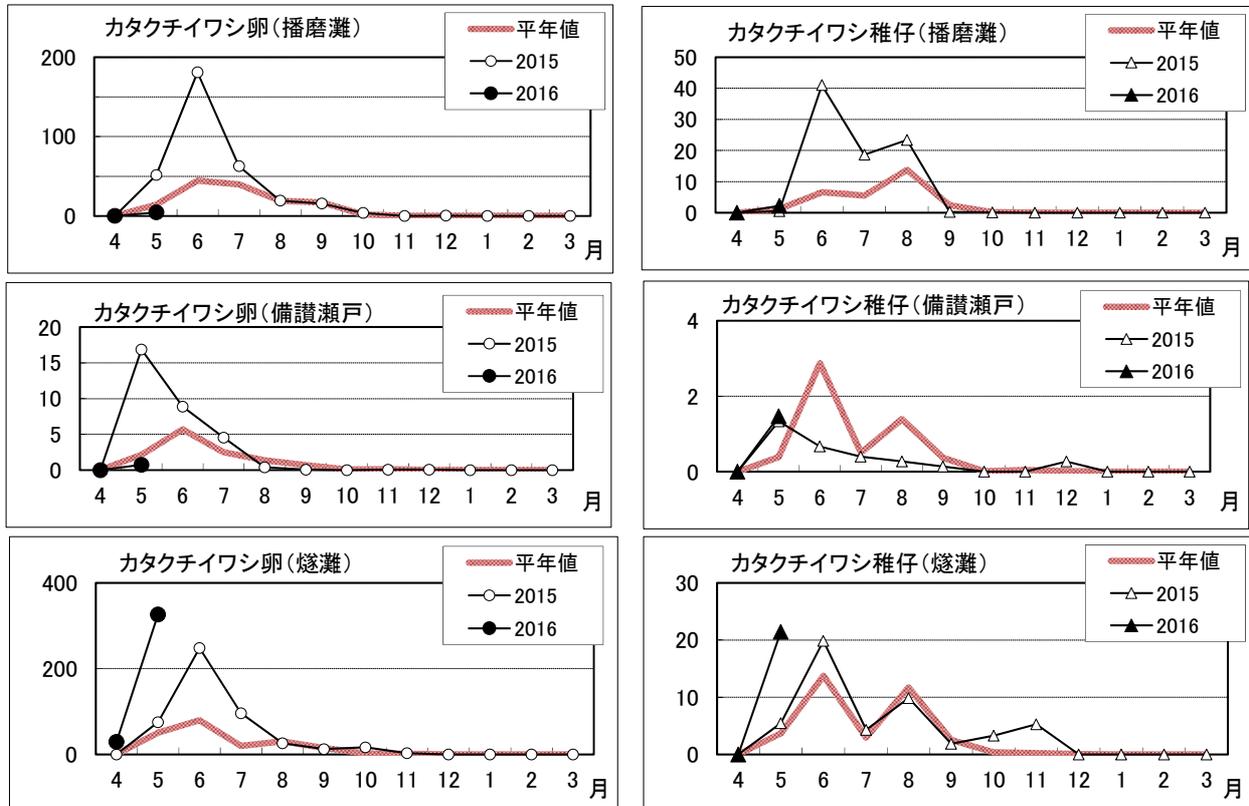
ー：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成27(2015)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成27(2015)年度

*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていません。



2. 漁況

1) 4月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、ヒラメ、マコガレイ、メイタガレイ、<u>イヌノシタ</u>、カサゴ、オニオコゼ、マゴチ、アカエイ、クロダイ、ナゴヤフグ、コウイカ、タイラギ、アカガイ、トリガイ、サルエビ、クルマエビ、ヨシエビ、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>柵網では、マアジ、マルアジ、マイワシ、マサバ、ハマチ、コノシロ、マダイ、クロダイ、イシダイ、スズキ、ボラ、カワハギ、ウマヅラハギ、シログチ、ナゴヤフグ、タチウオ、シロギス、ウミタナゴ、ヒラメ、マコガレイ、メイタガレイ、イシガレイ、サツキマス、テンジクダイ、トビウオ、コブダイ、マダコ、コウイカ、シリヤケイカ、カミナリイカ、ベイカ、スルメイカ、ミミイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、<u>メバル</u>、<u>タケノコメバル</u>、<u>カサゴ</u>、キジハタ、アイナメ、クジメ、キュウセン、マゴチ、マコガレイ、メイタガレイ、イヌノシタ、ハモ、マアナゴ、マダイ、クロダイ、カワハギ、ウマヅラハギ、コモンフグ、マダコ、<u>コウイカ</u>などが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では、ヒラメ、マコガレイ、<u>メイタガレイ</u>、コウライアカシタビラメ、セトウシノシタ、<u>マダイ</u>、クロダイ、スズキ、コイチ、ウマヅラハギ、セトダイ、コノシロ、ナシフグ、<u>コブダイ</u>、<u>マアナゴ</u>、ハモ、シロギス、キュウセン、オニオコゼ、マゴチ、ネズッポ、カサゴ、アイナメ、マダコ、テナガダコ、コウイカ、シリヤケイカ、ベイカ、スルメイカ、アオリイカ、<u>アカニシ</u>、クルマエビ、小エビ類、ガザミなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、メバル、カサゴ、アイナメ、クジメ、キジハタ、ウミタナゴ、ヒガンフグ、スズキ、クロダイ、キュウセン、オニオコゼ、メイタガレイなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では、マコガレイ、メイタガレイ、イヌノシタ、<u>ウマヅラハギ</u>、スズキ、マダイ、クロダイ、オニオコゼ、メバル、カサゴ、マアナゴ、ハモ、ボラ、アカカマス、シロギス、<u>シログチ</u>、ネズッポ、アカハゼ、<u>シリヤケイカ</u>、ミミイカ、小エビ類、ガザミ、クルマエビ、シャコなどが漁獲されている。</p> <p>建網では、ウマヅラハギ、オニオコゼ、カサゴ、キジハタ、ハモ、ボラ、メバルなどが漁獲されている。</p>
香川県全域 (サワラ)	<p>4月20日から流しさし網の春漁が開始された。香川県魚市場（株）における取扱状況を銘柄別にみると、サワラは、初日から1,000尾程度と多く、その後もこの状態が続いた。連休の後は日に2,000尾程度となっており、26年よりかなり少なく、27年と同程度で推移している。サゴシは、5月9日に尾数のピークがあり、27年より10日、26年より7日早い。5月20日までの県内産の合計尾数は、サワラ36,154尾（27年：35,776尾、26年：55,953尾）、サゴシ1,922尾（27年：2,493尾、26年：2,644尾）となっている。</p>

下線：調査時に相対的に量が多かった種類

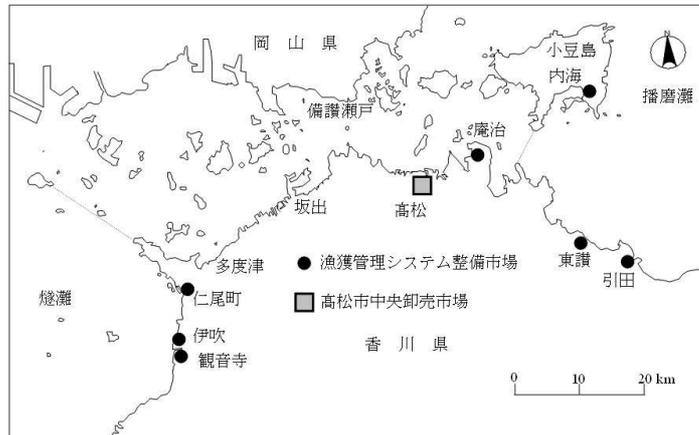
2) 香川県の漁獲情報

(1) 漁獲管理 (TAC) システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

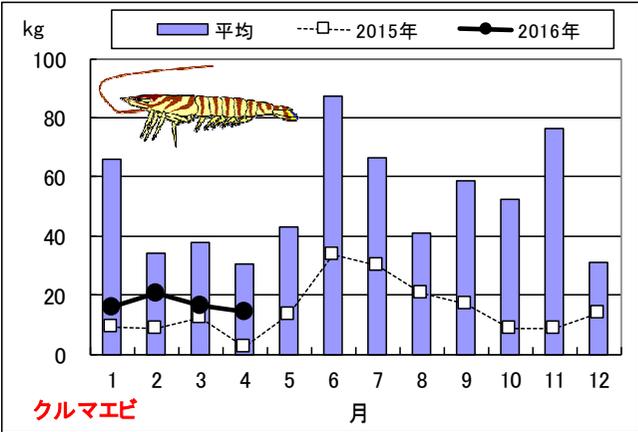
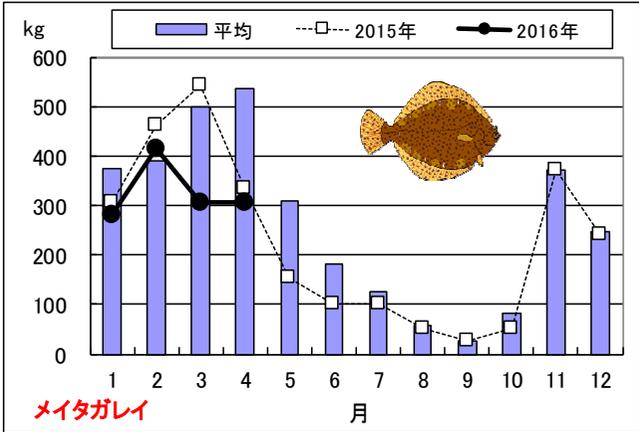
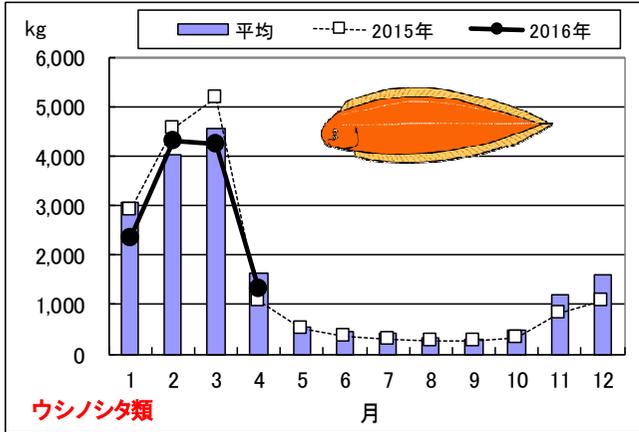
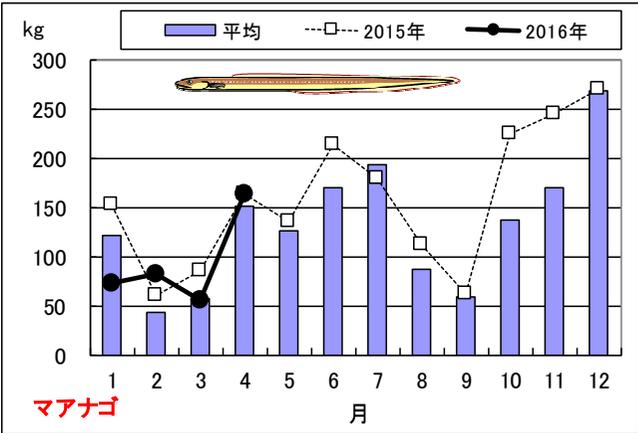
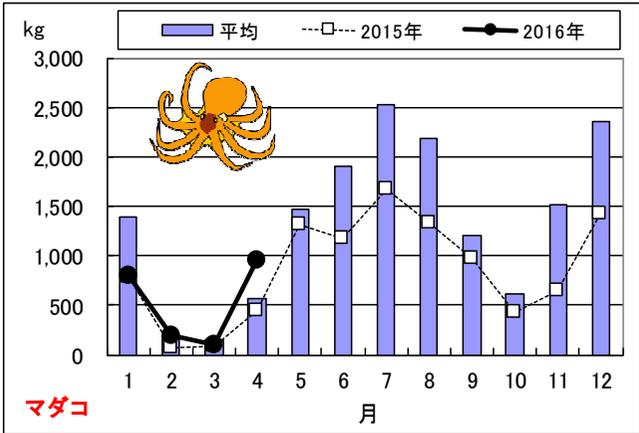
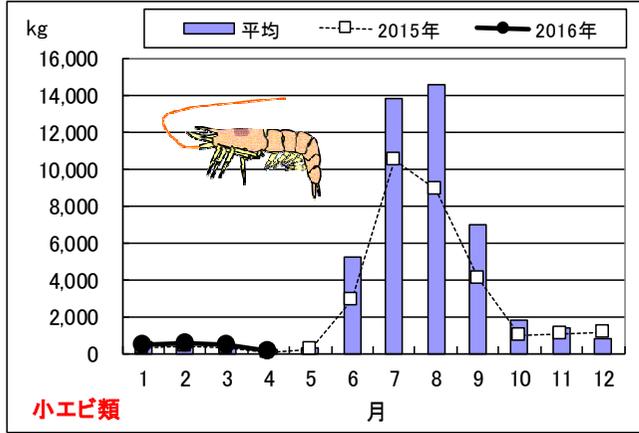
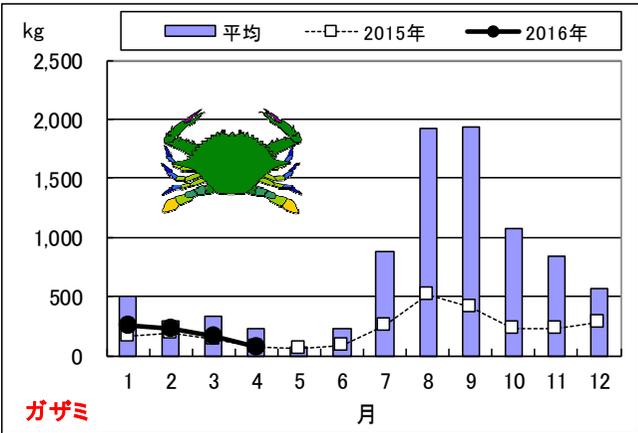
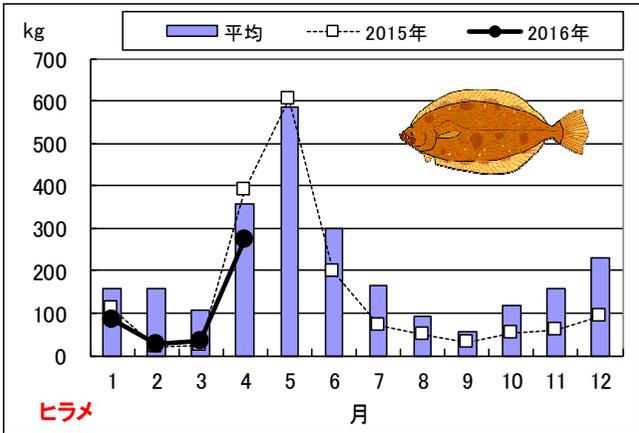
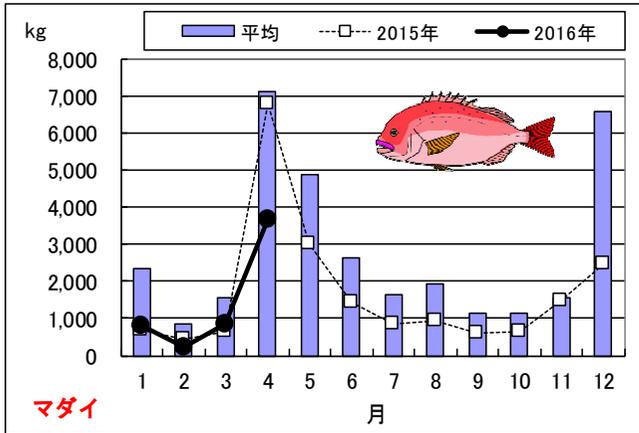
(2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物(香川県全体からの集荷物)について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



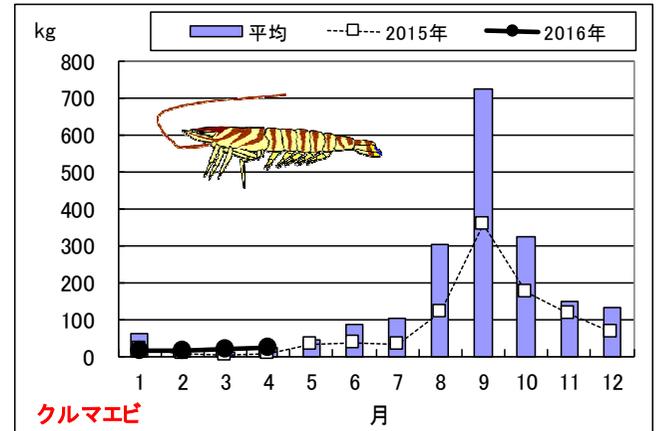
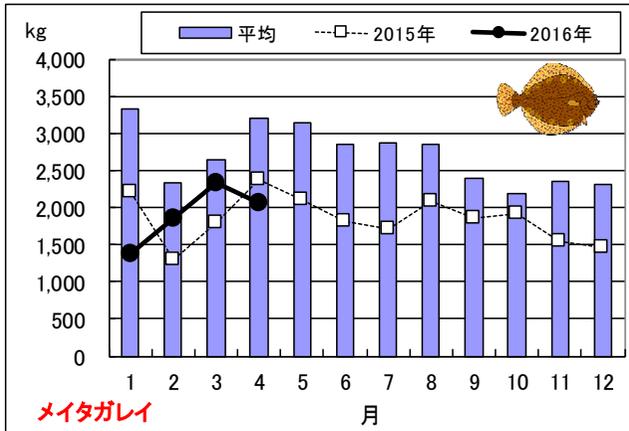
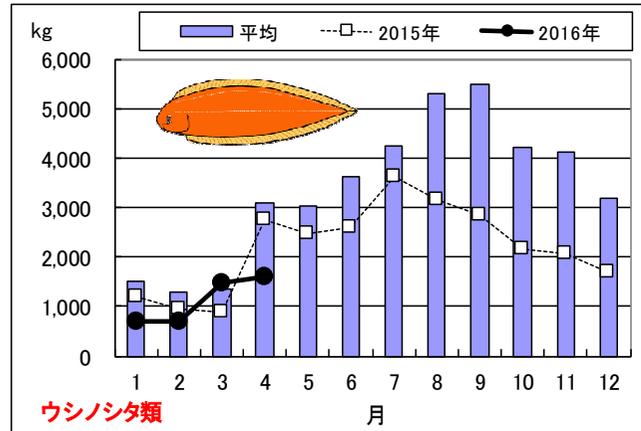
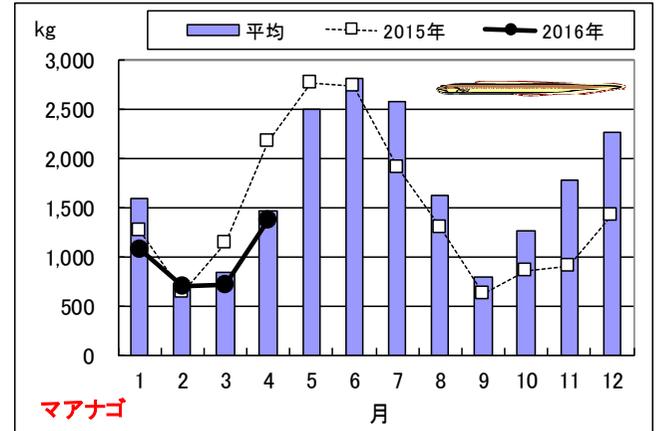
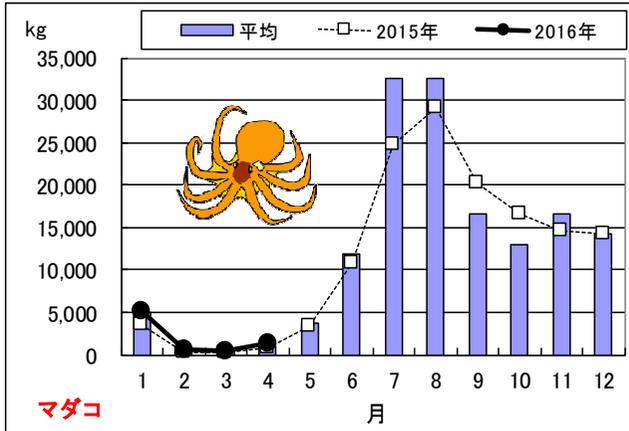
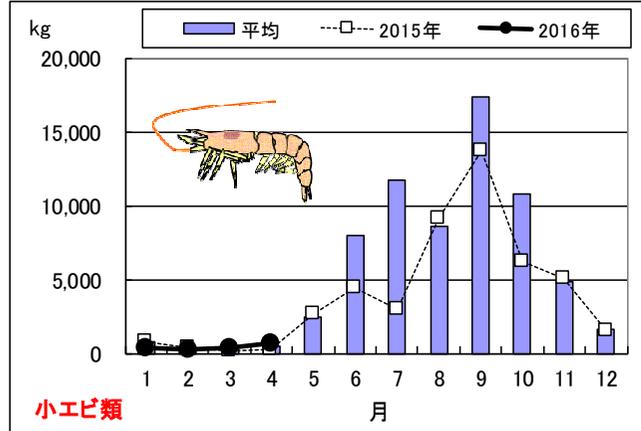
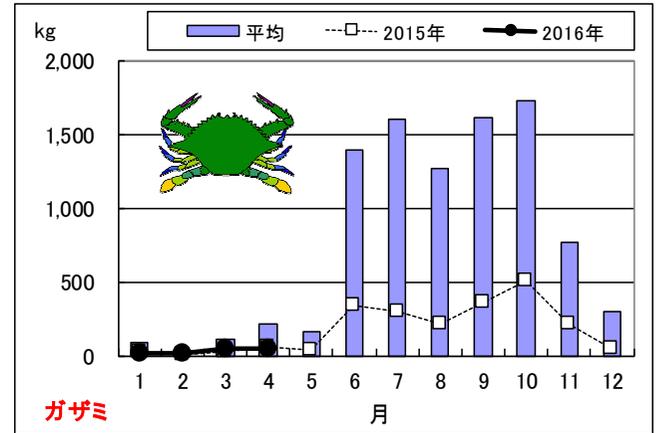
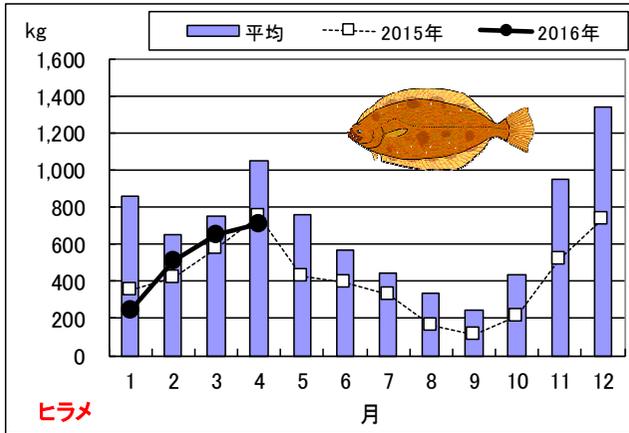
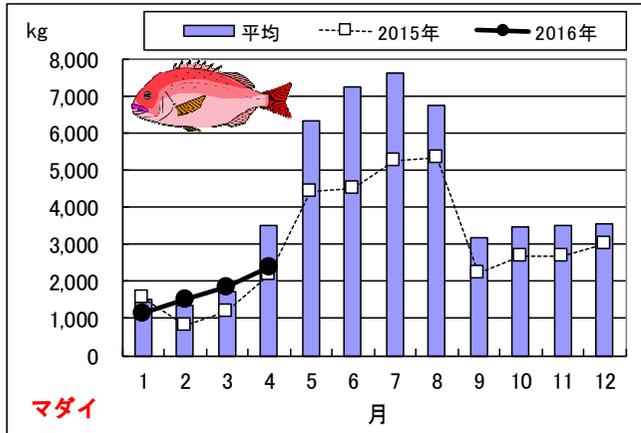
播磨灘（引田+東讃+内海） TACシステムデータより

平均値は、2011年から2015年の5年間の平均。



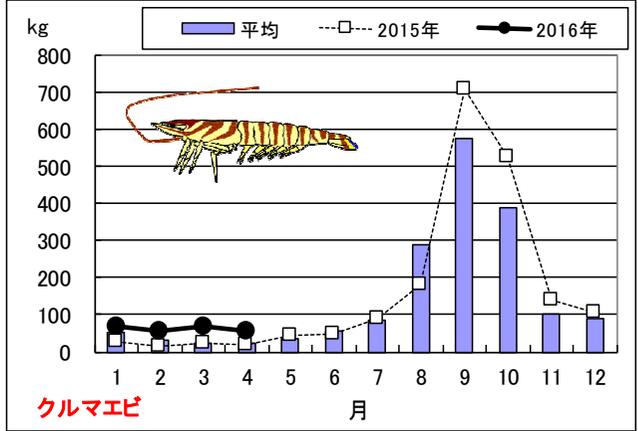
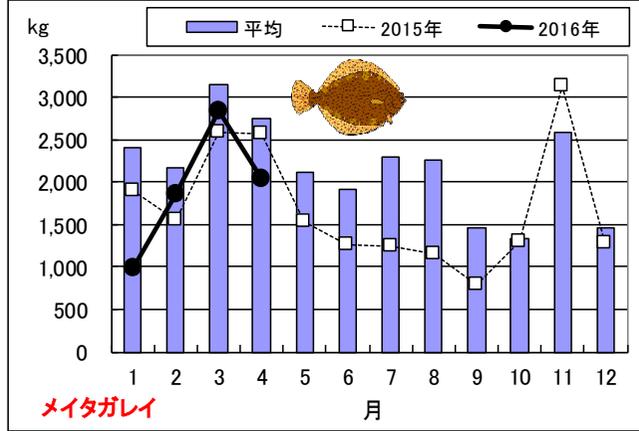
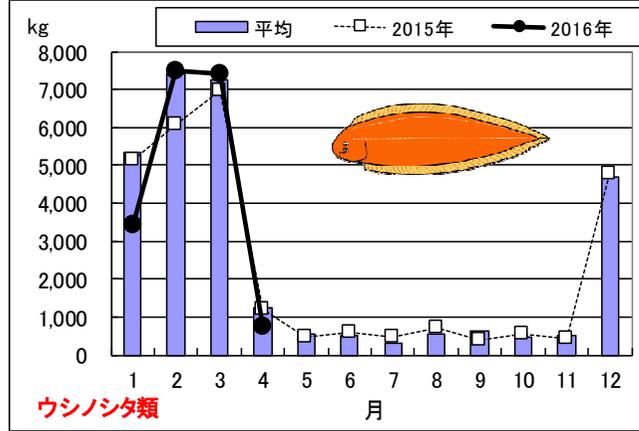
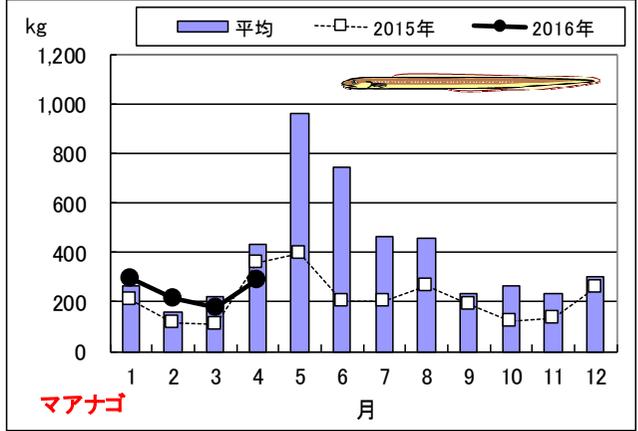
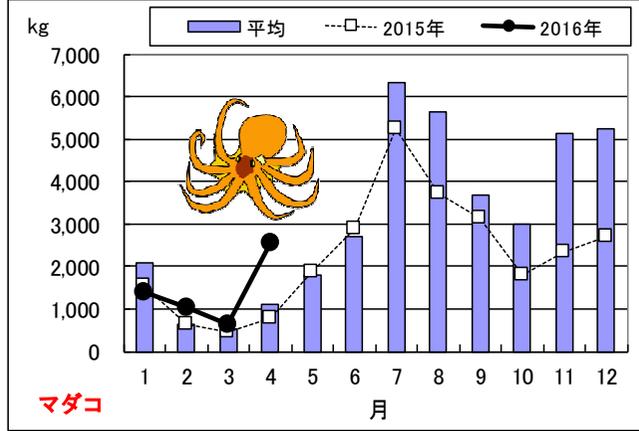
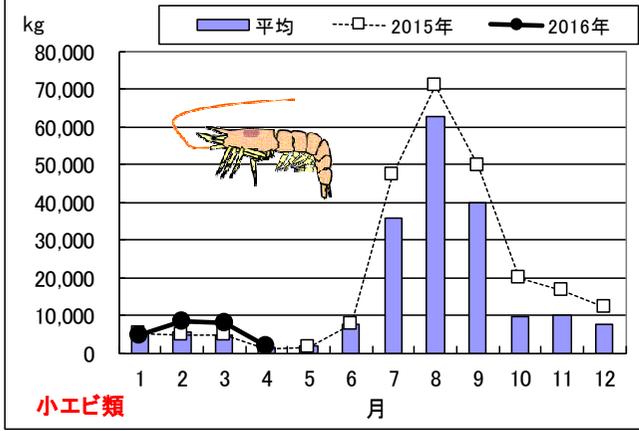
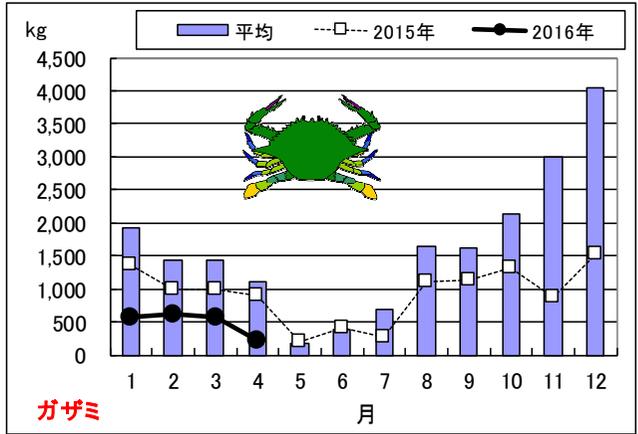
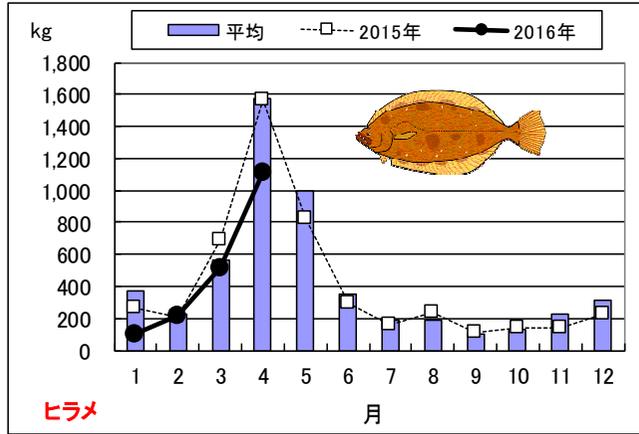
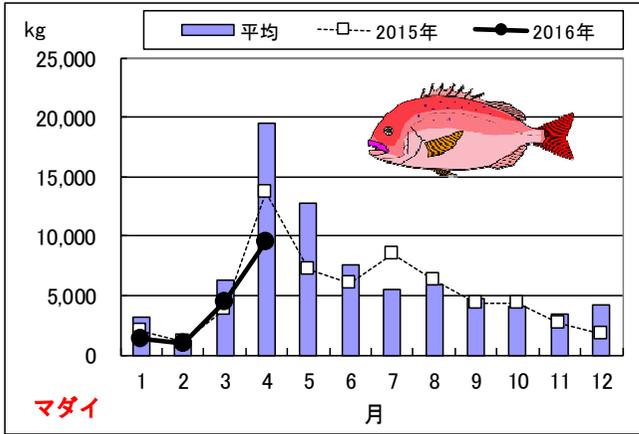
備讃瀬戸（庵治） TACシステムデータより

平均値は、2011年から2015年の5年間の平均。



燧灘（仁尾町+観音寺+伊吹） T A Cシステムデータより

平均値は、2011年から2015年の5年間の平均。



高松市中央卸売市場（県内産鮮魚：東讃・小豆・中讃・三豊地区からも入荷あり） 高松市HPより

2016年4月はデータ未公表。

